

# SDGs委員会 方針

## SUSTAINABLE DEVELOPMENT GOALS

世界を変えるための17の目標





## 社会貢献活動の定義

# 社会貢献活動は、、、

喜びを与え、幸せや豊かさを創り、平等さを醸成して、人の為になり、そして皆がhappyとなる活動の事である。  
地球環境と生きとし生ける者全てに対して行う。

## VISION

- ・社会貢献活動を通して、皆がhappy×win-winになる。
- ・我々が社会貢献活動を行い、社会から認められ、また良い社会貢献活動を行う、という好循環を創る。
- ・社会貢献活動を通して、良い影響を周囲に与える。
- ・社会貢献が当たり前となる企業文化を醸成する。

## MISSION

- ・自社で取り組んだ社会貢献活動を、積極的に外部発信して、ブランディング向上に努める。
- ・費用と効果を比較し、効果が多い社会貢献活動を実施する。
- ・仕組み・業務プロセスが、必然的に社会貢献につながるように設計し、事業活動そのものを、社会貢献活動にする。
- ・社員教育を継続的に実施し社会貢献への感性を高め、より高いレベルの社会貢献活動に発展させていく。
- ・行動目標を立て、常に活動内容とプロセスに重点を於いて取組を推進する。

テーマ： 八王子社 (神社) の清掃活動

実施内容

毎月第1土曜日に、YCL本社の近所にある、八王子社 (神社) と周辺道路を、営業部の皆で、早朝に清掃活動を行っている。

7時50分に、本社を2班に分かれて出発し、1班は、八王子社まで直交し、神社清掃を行い、もう1班は、八王子社に歩いて向かいながら、の道路のゴミ拾いや清掃をしている。

既に、5年以上に渡り、地道に継続している清掃活動で、近隣の皆さんにも、YCLが掃除をしている、という認知もされてきている。

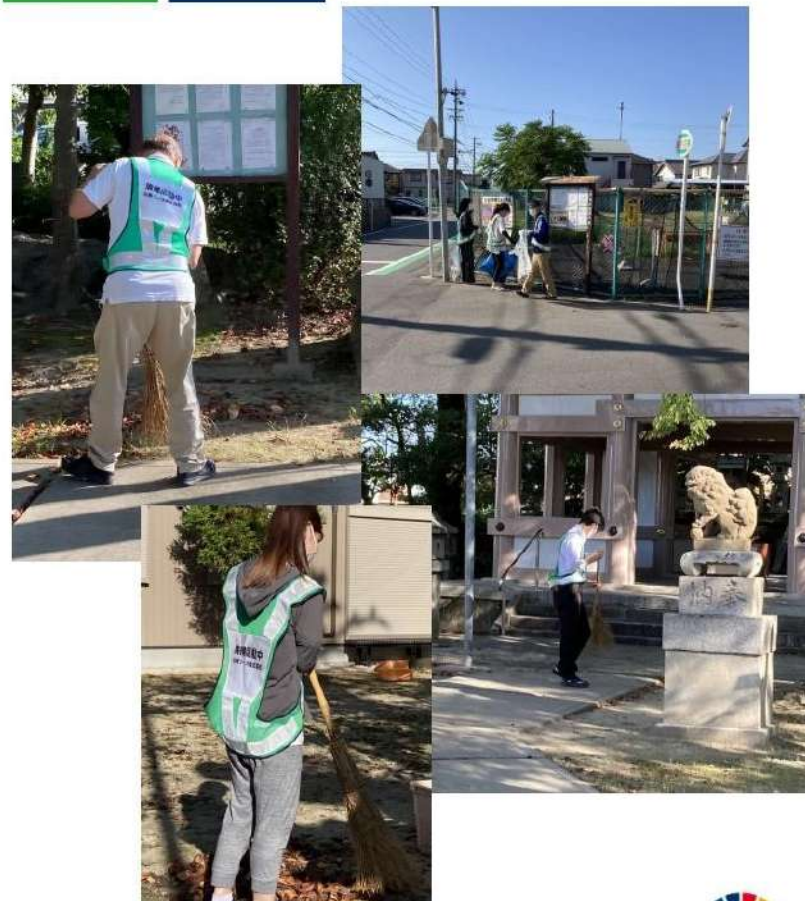
最近では、「ご苦労さん」とお茶を頂けたり、また近所の方も、時間をずらしてではあるが、清掃を行っている模様で、山長リースの活動が、地域に良い影響を与えていると、考えられる。

また、YCL本社は、こども110番の家、にも登録し、少しでも本社周辺の地域へ貢献し、皆が幸せになれるよう、頑張っている。

作成担当者 SDGs委員会委員 松岡賢

memo

社員主導で取組を始め、継続している素晴らしい社会貢献活動だと思います！社長の私は、参加しておらず、本社の皆さんごめんなさい！是非、この活動を通して、地域が良い方向に迎えるよう、良い影響力を発揮していきたいですね！



テーマ： **カンボジアの恵まれない子供たちを支援する。**

**実施内容**

カンボジア王国の3名の子供に毎月4500円/人の支援金を送り支援する。  
 支援は、ワールドビジョンジャパンを通して、同国のボレイ・チュルサール地域開発プログラムの一環で、同地域に住む、ニタちゃん、ウドムくん、チエトラくんの3名を、2021/7から開始した。  
 財源は、YCLで全社で展開するコスト削減プログラム（通称、コスチャ）で捻出したコスト低減分としている。  
 全社員で協力しコスト削減をし、そこから青少年支援を行う事で、社会貢献活動に対する関心度向上、仕事への誇り、新たなモチベーションの想起につなげている。  
 なお、YCLは、カンボジア王国出身の6名の社員が努めている事から、本件の取組は、彼らの故郷への恩返し、という意味も込められている。

作成担当者 **SDGs委員会委員 松岡賢**

**memo**

コスト削減幅を財源として、社会貢献活動を展開しており、持続可能性の高い取組であり、また、支援する子供たちの成長も応援する事で、心がほっこりする活動です。



地域を代表し、皆さまに感謝いたします

チャイルド紹介カード  
 名: ニタ  
 性: 女の子  
 誕生日: 2014年7月12日  
 国: カンボジア  
 プログラム名: ボレイ・チュルサール地域開発プログラム

チャイルド紹介カード  
 名: チエトラ  
 性: 男の子  
 誕生日: 2012年2月24日  
 国: カンボジア  
 プログラム名: ボレイ・チュルサール地域開発プログラム

チャイルド紹介カード  
 名: ウドム  
 性: 男の子  
 誕生日: 2015年8月6日  
 国: カンボジア  
 プログラム名: ボレイ・チュルサール地域開発プログラム